

News Release



株式会社ファーマフーズ

会 社 名 株式会社ファーマフーズ
代 表 者 名 代表取締役社長 金 武祐
コード番号 2929
上場取引場所 東証マザーズ
本社所在地 京都市西京区御陵大原1番地49
TEL075-394-8600 FAX075-394-0099

各 位

ニワトリ抗体作製技術を利用した「鳥インフルエンザの検出技術の開発」プロジェクトが農研機構の革新的技術開発・緊急展開事業に採択されました。

当社と国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）動物衛生研究部門、及び鹿児島大学との三者共同研究による「鳥インフルエンザウイルスの農場への侵入を早急・簡便に検出可能な技術の開発」の研究課題が、2016年度 革新的技術開発・緊急展開事業（うち地域戦略プロジェクト）に採択されましたので、お知らせいたします。

鳥インフルエンザは2003年以降、アジアを中心に常在化しており、各国の養鶏産業の脅威となっています。昨年度は北米でも大規模な鳥インフルエンザが発生し、4,000万羽以上の鶏が処分され、甚大な被害を及ぼしております。

H5亜型及びH7亜型鳥インフルエンザウイルスは、家畜伝染病予防法上の法定伝染病に指定され、世界獣疫事務所(OIE)によって、輸出入規制の対象となる届出伝染病とされていることから、他の亜型のウイルスとは、明確に区別する必要があります。

一方でH5亜型及びH7亜型のウイルスは、発生の継続や世界的な拡大により多様化し、それぞれを特異的かつ網羅的に同定する迅速診断キットがなく、その開発が緊急課題とされています。

当社と動物衛生研究部門は、H5亜型ウイルスに対して特異的かつ網羅的に反応する抗体の作製技術を確立し（特許出願番号：特願2014-115221、PCT/JP2015/065986）、2014年度 革新的技術創造促進事業（異分野融合共同研究）の認定を受け、簡易診断キット化を進めてまいりました。

今回の事業では、鳥インフルエンザの確定検査機関である動物衛生研究部門、及びインフルエンザウイルスの特殊濃縮技術を有する鹿児島大学大学院理工学研究科と共同し、簡易診断キットの更なる高感度化を目指します。

さらに、モニタリング等で実際に使用することになる家畜保健衛生所と実証研究を実施します。

本技術により、養鶏農場でのH5亜型、H7亜型の判別が可能となり、鳥インフルエンザの防疫対策に大変有用であると期待されています。

【受託研究の概要】

所管：国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

事業名：2016年度 革新的技術開発・緊急展開事業(うち地域戦略プロジェクト)

事業テーマ名：

「鳥インフルエンザウイルスの農場への侵入を早急・簡便に検出可能な技術の開発」

代表研究機関：国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究部門越境
性感染症研究領域 (代表：内田 裕子)

共同研究機関：株式会社ファーマフーズ (代表：庄屋 雄二)

鹿児島大学大学院理工学研究科 (代表：隅田 泰生)

以 上